

須崎市地域公共交通活性化協議会

地域内フィーダー系統
事業評価(令和6年度)

須崎市基礎データ

須崎市は高知県中部に位置し、東西25km、南北13km、総面積は135.20Km²で、人口は19,387人(令和6年11月末)である。

須崎市における主な公共交通概要

鉄道

- ・JR土讃線

バス

(路線)

- ・高知高陵交通(株)
梶原～須崎線、矢井賀～須崎線
須崎～高岡西芝線

(フィーダー)

- ・須崎市
南地区と市街地を結ぶ自家用有償旅客運送

(スクールバス)

- ・須崎市
浦ノ内地区と市街地を結ぶ混乗バス

離島航路

- ・市営巡航船
浦ノ内湾内の北岸と南岸を結ぶ
(離島航路運営費補助金対象)

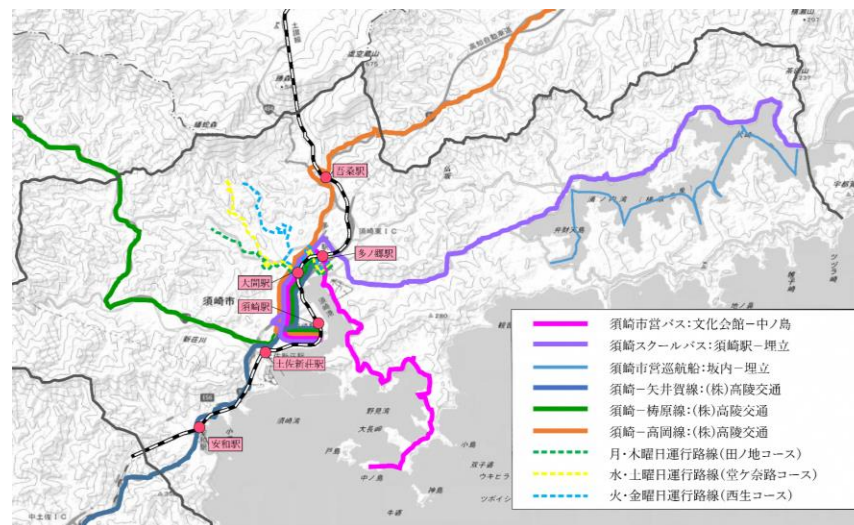
地域の交通の目指す姿(事業実施の目的・必要性)

南～須崎線の運行区域である南地区は須崎市南部に位置し、平成4年5月まで須崎港～野見湾を結ぶ巡航船が運航していた。しかしながら乗客の減少により廃止となり、以降代替バスを市が運行している。

市営バスは市街地と南地区を結ぶ唯一の公共交通であり、高齢者等の移動手段を持たない住民の通院や買い物等には必要不可欠な公共交通である。

今後においても地域住民の移動手段として、より利用しやすい公共交通の構築に向け取り組んでいく。

須崎市の公共交通ネットワーク図



協議会の構成員

四国運輸局高知運輸支局、高知県、高陵交通株式会社、
有限会社 さくら観光、須崎しんじょうハイヤー株式会社、
株式会社横浪交通、住民代表

前年度の事業評価における課題

「須崎駅とコミュニティバスの接続」を含め、今後も地域のニーズ及び利用状況と、サービス内容との整合性について検証し、必要と判断される場合は、サービス内容の見直しも含めて検討すること。

定量的な目標・効果

(目標)

人数: 20,523人

運賃収入: 3,948,000円

(効果)

定期路線バスを維持することにより、南地区だけでなく、市営バス路線沿線に居住している高齢者や自家用車を持たない住民の市街地への通院・買物等、外出の機会が確保できる。

フィーダー系統図



「定量的な目標・効果」達成のための具体的な取組

JRを含めた各公共交通機関とコミュニティバスの接続等については、要望の聞き取り等により、見直しに向けて検討を行っている。

また、利便性の向上について、とさでん交通の「マイ時刻表」(バスロケーションシステム)への掲載により、スマートフォン等から運行状況や時刻、運賃等を確認できるようになった。

あわせて利用環境の改善については、市役所前バス停が歩道幅が狭く危険であったため、広い箇所へ移設を行った。

自己評価

事業実施の適切性

計画通り、事業は適切に実施できた。

「定量的な目標・効果」の達成状況

【乗客数】

目標達成率: 92.3%
目標 : 20,523 人
実績 : 18,946 人
対前年比 : 104.4%
対前々年比: 98.3%

【運賃収入】

目標達成率: 109.2%
目標 : 3,948,000円
実績 : 4,312,550円
対前年比 : 117.2%
対前々年比: 96.8%

【収支率】

対前年比 : 0.4%
対前々年比: ▲0.8%

乗客数は目標を下回ったものの、運賃収入では目標を上回っており、市民の移動手段として役割を果たした。今後は利用者を増やすため、さらなる周知に取り組むとともに、他の公共交通機関との接続による利便性向上を図る必要がある。

今後の事業に向けた改善点

運行時刻やルートの変更について、小中学校統合に伴う児童生徒の通学利用を想定するほか、住民等から要望のある多ノ郷駅前(北側)を通るルートの検討を含むJRなど他の公共交通機関へのスムーズな乗り継ぎ等について、関係機関と協議・検討を行う。

市営バスの利用促進については、今年度導入した「マイ時刻表」の周知を図るとともに、同サービス等を含めた他公共交通機関との乗換え・接続情報の入手を容易にすることで、観光客等の利用拡大を図る。

その他PRポイント